

1. 件名：新規制基準を踏まえた防護措置の検討のための事故シナリオの整理に関する面談

2. 日時：令和2年11月12日 13:40 ～ 14:40

3. 場所：原子力規制庁 3階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 緊急事案対策室

児玉企画調整官、宮地防災専門官、平野室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 課長

原子力エネルギー協議会

副長 他1名

(テレビ会議システムによる出席)

北海道電力株式会社

泊発電所 防災・安全対策室 主任 他1名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ チームリーダー 他1名

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 担当

関西電力株式会社

原子力事業本部 危機管理グループ マネジャー 他2名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ 副長

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他5名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他3名

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備・防災グループ 主任

5. 要旨

原子力エネルギー協議会（ATENA）等より、伊方発電所を事例に、既往の事故時の放出量評価として、新規制基準への適合性審査、特重施設の適合性審査及び以下安全性向上評価において示している事故シナリオと放出量評価の結果の概要について、配付資料に基づき、説明があった。

原子力規制庁より、同評価における大気中への放出放射エネルギーに関して、核種グループの詳細を示せるか確認すよう伝えた。また、既往の事故の進展に応じて早いシナリオ、基本シナリオ及び遅いシナリオに整理した上で、新規規制基準を踏まえた防護措置の検討に必要な放出量等の情報を確認する旨伝えた。

原子力エネルギー協議会（ATENA）等より、本日の面談を踏まえて、対応する旨回答があった。

## 6. その他

配布資料：

資料 1 「伊方発電所に関する既往の解析結果の整理」